

## 第6章 施設計画

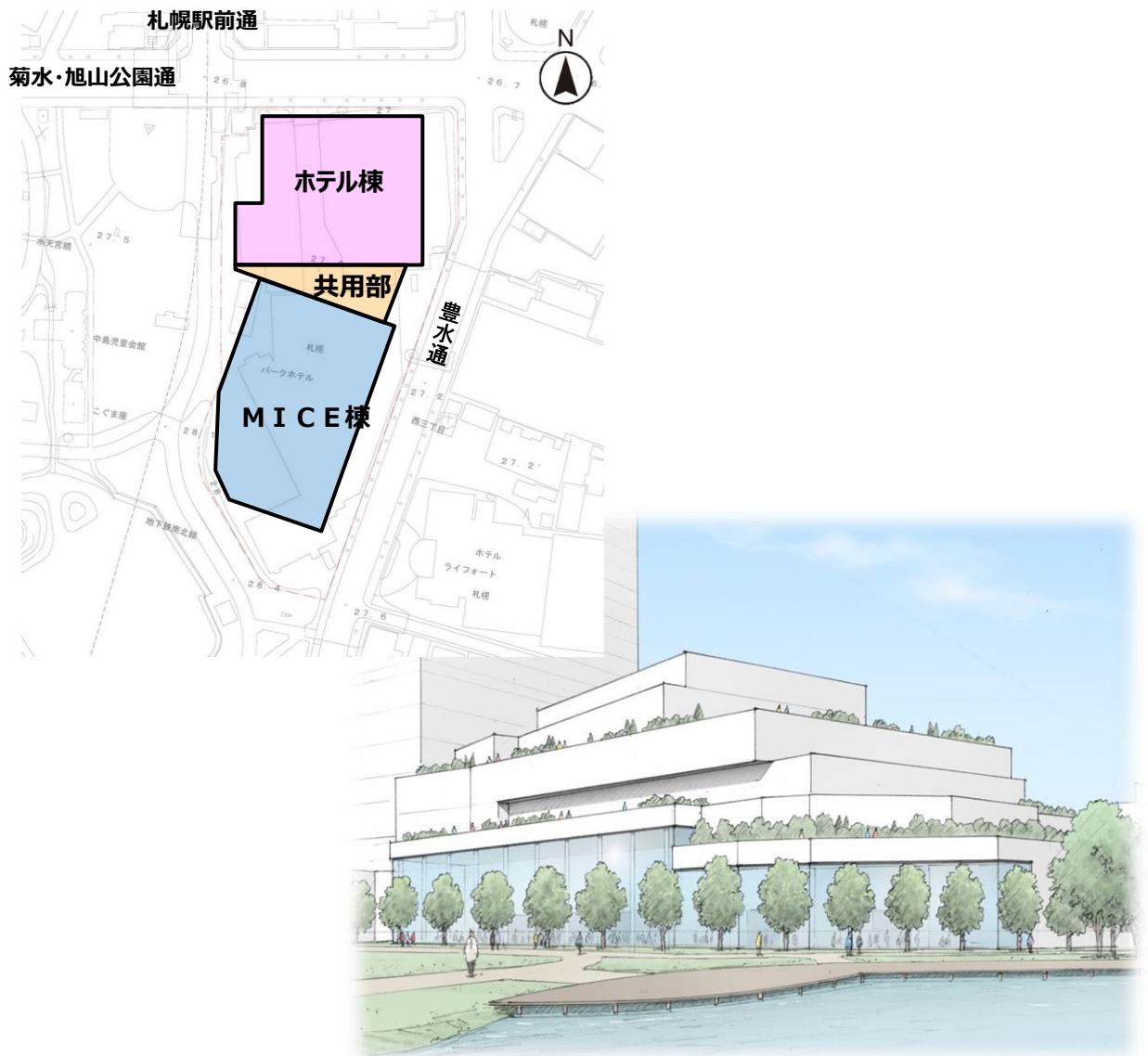
中島公園駅周辺地区での整備については、4-1で記載したとおり、パークホテルとの共同事業となります。この計画では、そのうち、新MICE施設（共用部含む）部分の施設計画について整理します。

### 6-1 配置計画

#### (1) 配置計画

敷地内の配置計画については、新MICE施設（以下「MICE棟」という。）は低層、建替えられる札幌パークホテル（以下「ホテル棟」という。）は高層となる見込みであることから、中島公園への圧迫感の軽減などに配慮し、ホテル棟を敷地北側に、MICE棟を敷地南側に配置します。これにより、メインホールや展示場のホワイエ空間などから、藻岩山や中島公園のみどりへの眺望を確保することができます。また、屋上緑化等を施すことにより、中島公園と施設の一体性を演出することができます。

ホテル棟とMICE棟の間には、共用部となるエントランス空間を配置します。札幌駅前通や中島公園駅、豊水通からアプローチがしやすいものとするともに、敷地内貫通通路により、札幌駅前通や中島公園駅から豊水通に至る回遊動線を設ける計画とします。これにより、施設利用者の周辺への回遊性向上や地域住民の中島公園駅へのアクセス向上を図ります。加えて、中島公園利用者等がMICE棟を利用しやすくなることなどにより、施設周辺のにぎわいの創出を目指します。



<施設イメージ>

## 6-2 諸室整備計画

施設全体の規模や主な諸室の規模は下表のとおりです。

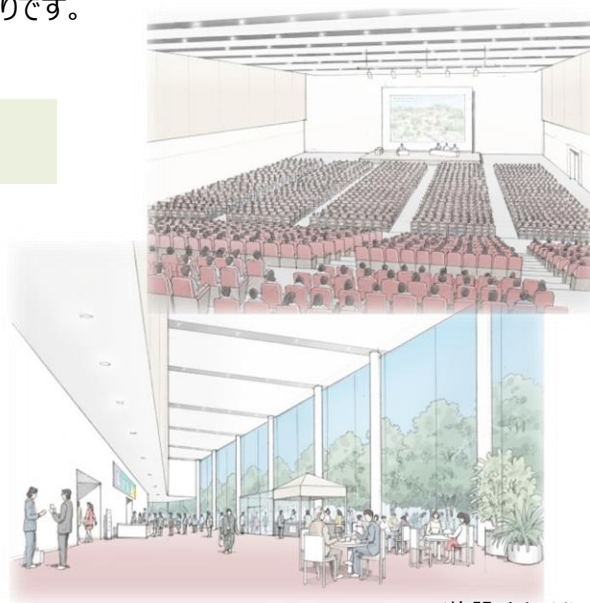
### 【延床面積等】

【専有面積】 25,500 m<sup>2</sup>

【共用部面積】 19,400 m<sup>2</sup>

### 【主な諸室の規模等】

	室名	面積 (m <sup>2</sup> )	室数
ホール	メインホール	約 2,000	1 室
	ホワイエ	約 700	
展示場	展示場	約 4,000	1 室
	ホワイエ	約 1,000	
会議室	中会議室	約 800	2 室程度
	小会議室	約 1,200	5 室程度
	ホワイエ	約 700	



＜施設イメージ＞

\*現時点で必要な諸室であり、今後、設計等や共同事業の協議等を進め、詳細な検討を行うこととします。

その他諸室も含め、室ごとの必要な機能や仕様、留意事項などについて以下に示します。

### (1) メインホール

メインホールは、無柱空間で平土間形式とするとともに、移動間仕切り等を設置し、多様な使い方に対応できる計画とします。なお、ホテル棟の会議室（宴会場）等と同じフロアに設けることで、利用しやすい計画とします。

### (2) 展示場

展示場は、無柱の大空間を確保するとともに、十分な床荷重を持った床とします。また、搬入・搬出を行いやすい地上1階とし、搬出入車両が直接出入りできるよう出入口を設けるなど、催事の設営をスムーズに行えるような計画とします。さらに、一定程度の興行等の開催も想定した機能を整備します。

### (3) 諸会議室

会議室は、大小様々な室を設けるとともに、移動間仕切りで分割することで、様々な規模の利用に対応できるようフレキシブルな計画とします。なお、会議室はホテル棟とM I C E棟を合わせて、望ましい規模を確保するものとします。

### (4) ホワイエ

ホワイエ空間は、メインホールや展示場、会議室の利用の際に必要な十分な溜まりの空間とします。

### (5) その他

#### ＜エントランス＞

エントランスは開放的な空間とするとともに、大規模催事の際に十分な縦横動線を確保します。

#### ＜パントリー＞

パントリーは、レセプションの開催等に対応できるよう、各フロアに必要な規模・機能を確保するものとします。

<トイレ>

トイレは、男女とも十分な個数を配置し、催事開催時の集中利用でも対応できるようにします。なお、催事の内容によっては、女性用トイレが不足することも考えられることから、男女の個数を柔軟に調整できるものとします。また、興行場法が適用される場合は、同法の規定を満足したものとします。

<倉庫>

椅子や机などの備品を収納できる十分なスペースを確保します。

<クローク>

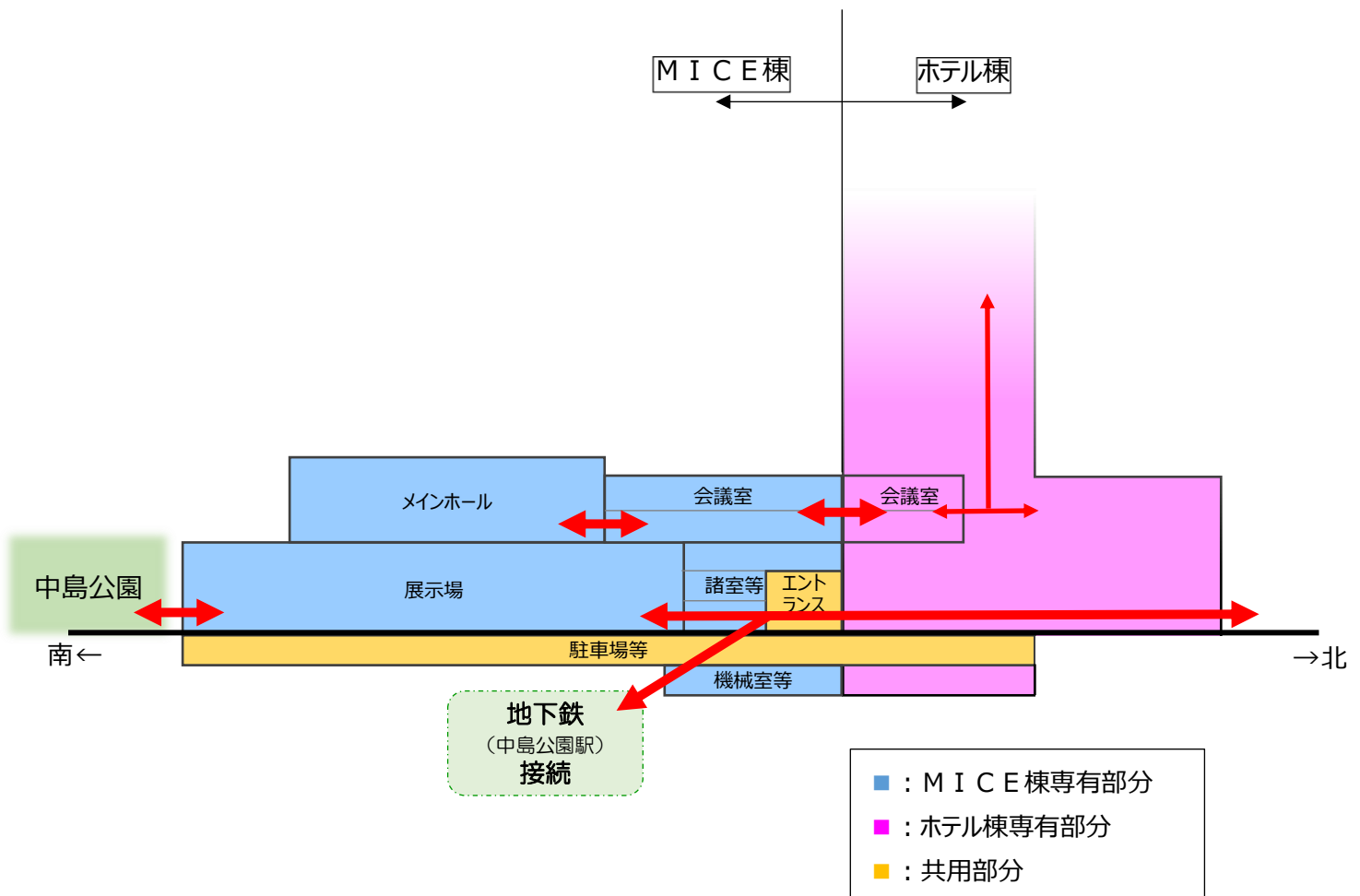
来場者の需要に適切に対応できるよう、常設・仮設も含め、必要なスペースを確保します。

<その他>

札幌市避難場所基本計画を踏まえ、M I C E 棟を避難場所とし、必要な諸室等の詳細については、今後、検討することとします。

(6) 断面構成イメージと動線イメージ

南北方向の断面構成イメージと動線イメージを以下に示します。

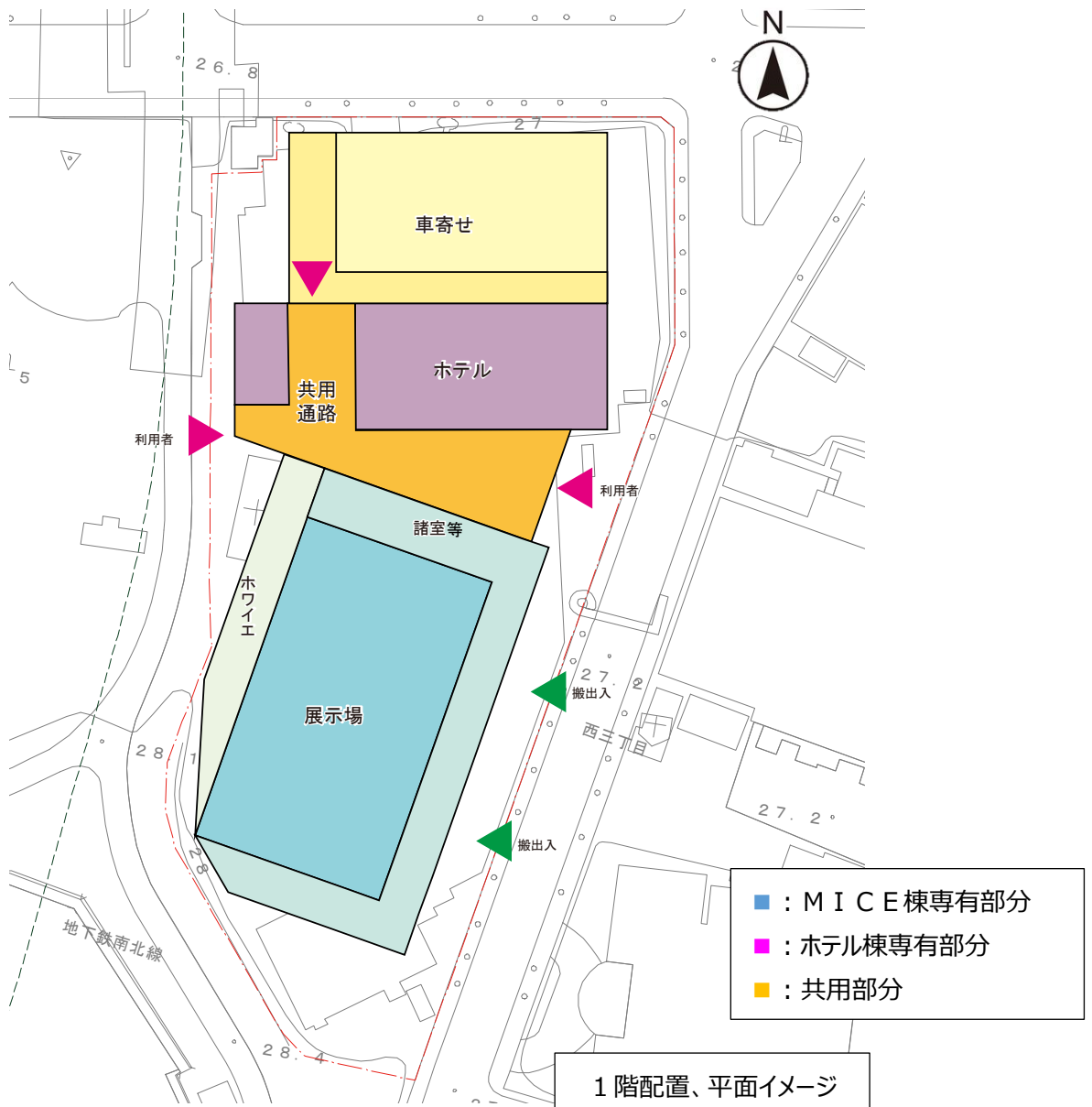


### 6-3 平面計画イメージ

1階は、エントランス（共用部）、展示場等を配置します。出入口は、公園利用者のアクセス動線に対して西側、札幌駅前通からのアクセスに対し北側、及び、豊水通側の東側に設けることで、回遊性を確保しアプローチしやすいようにします。また、エレベータやエスカレータを適切に配置し、メインホール等上層階の利用の際にスムーズに移動ができるように配慮します。

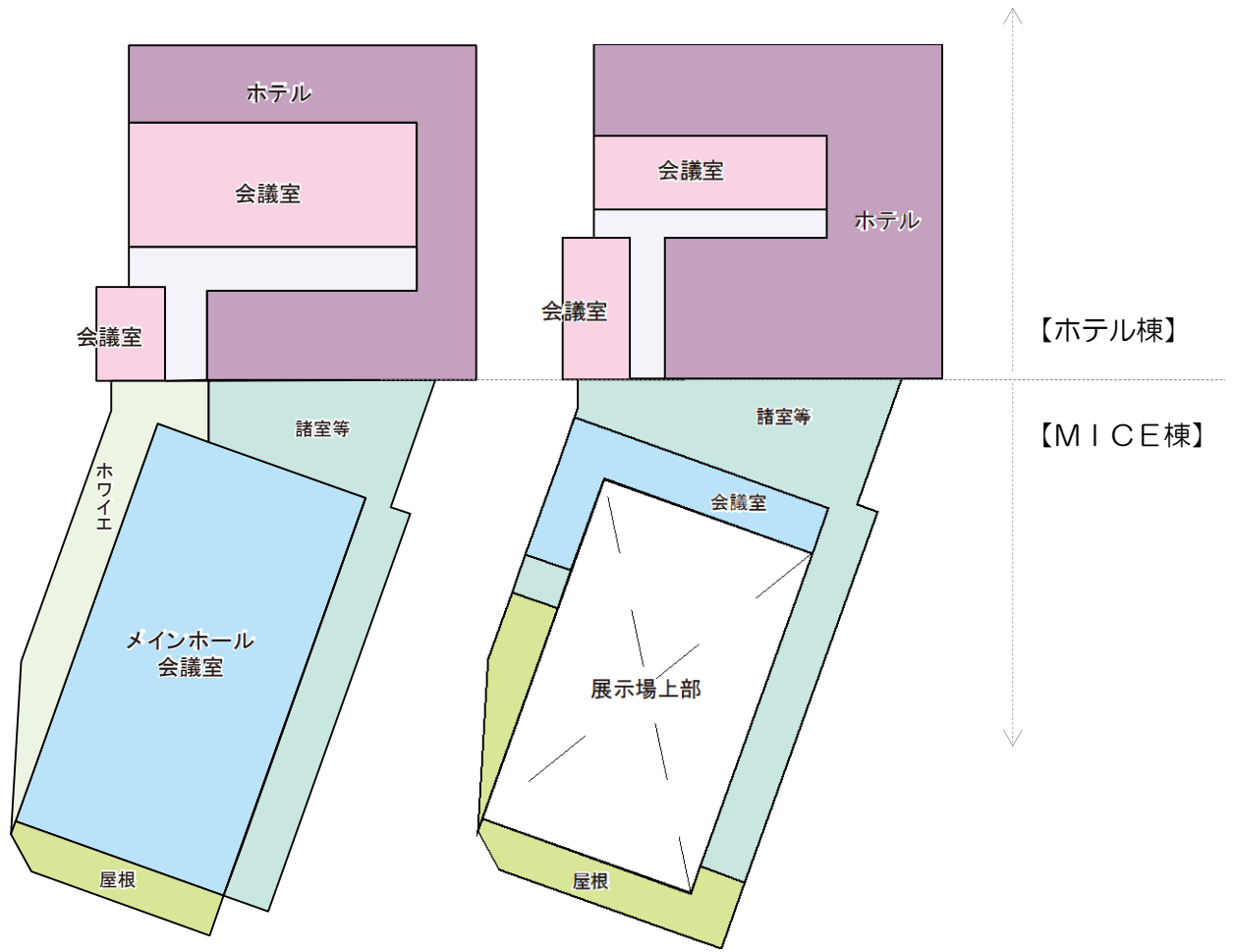
展示場のホワイエを中島公園側に配置し、公園への眺望を確保します。また、ホワイエには中島公園に直接出入りできる出入口を複数配置することで、施設と公園が一体的に利用でき、賑わいを創出できる計画とします。また、東側には直接展示場に搬出入できる動線を確保し、スムーズに催事が行えるようにします。

さらに、敷地外の公園部分についても、広場や園路の整備、水辺の魅力創出などといった整備を行うことで、施設と中島公園の連続性等に配慮した計画とします。



メインホールは、展示場階（1階）に併置できないことから、展示場の上階に配置します。

会議室はメインホール階及びその上下の階にまとめて配置し、各会議室間の移動がしやすいように配慮します。また、これらをホテル棟の会議室と同じフロアに設けることで、相互利用しやすい計画とします。



メインホール階イメージ

会議室階平面イメージ

- : MICE棟専有部分
- : ホテル棟専有部分
- : 共用部分



地下階は、駐車場（共用部）を設けるとともに、中島公園駅と接続した共用通路を設け、地下鉄駅から風雨・降雪にさらされずにアクセスできる動線を確保します。

駐車場については、M I C Eの主催者・出演者に必要な駐車場台数を確保します。また、荷捌きスペースを適切に配置し、スムーズな搬出入に配慮します。

